

他もろもろのデータやプログラムが入っている
ので、データ処理に使えるのは2台です。信大
で作るデータは順不同ですから、データファ
イルとしては植物名でソートして収容する必
要があります。今日のデータベースソフトで
す、インデックスファイルというものを作
れば、実際のデータ配列はどうでもよい
のですが、当時はそんなことはできませ
んでした。たとえば100件のデータファ
イルAのソーティングを行なって結果をB
ファイルに納めるには、作業領域としてA
と同じ大きさの二つのファイルが必要で
す。作業領域というのは、たとえば麻雀の
パイをかきまわす場所と思えばよいです。
AとBは同じファイルを使うことができます
が、ソートがうまくゆかなかった場合に
は元のファイルが失われるので、こわくて
できません。したがって100件分のソート
を行うには、全部で

400件分の領域が必要です。ですからソ
ートを2枚のディスクでやるためには、
一度にせいぜい12000件しか処理でき
ません。4枚のディスクカートリッジに
入った10万件のソートを行うために
は、最も節約して（その代わり手間を
かけて）も14枚のディスクと12回の
ソーティング、100回の分割・コピー
処理が必要です。計算上はそうですが、
12000件のソーティングは実際には
できませんでした。というのは、OSの
処理能力がレコード数4桁以内でした
ので、それ以上になるとエラーになっ
てしまうのです。仕方がないのでFOR
TRANで10万件を扱えるプログラム
を作りましたが、これは機械語でない
ので、時間がかかって仕方がありませ
ん。結局1万件以内でソートし、後で
つなぎ合わせるというやり方にせざる
を得ませんでした。

【植物ニュース】 168. シロヒキオコシ

Isodon japonicus HARA form. *albiflorus* HARA

ヒキオコシの花冠と葯の純白色品種。シロ
バナヒキオコシ（花冠白に紫点あり）の報告
は県下にもあるが、シロヒキオコシは県下初
採である。母種と並んで生育していた。1992
年8月3日。松本市岡田伊深。（横内 文人）

【植物ニュース】 169. ヒメヒマワリ

Helianthus cucumerifolius TORR. et GRAY

北米原産の帰化植物。明治末頃に鑑賞用と
して輸入された。1992年8月3日に松本市岡田
杏で採る。県下初採である。続いて1993年7月
20日に東筑摩郡四賀村落水でも採集した。
1993年8月12日、松本市岡田湯の脇の山道路傍
でも採集した。（横内 文人）

【植物ニュース】 170. シナノナデシコ、ミ
ヤマナデシコ *Dianthus shinanensis* MAK.

1992年7月2日に東筑摩郡四賀村執田光で採
集した。ここは道路の新しいのり面であり、
ネットがはってある。土止めのための斜面吹
き付けの種子の中にシナノナデシコの種子が
混入していたものと考えられる。（横内 文人）

【植物ニュース】 171. シロバナタツナミソウ

Scutellaria indica L. form. *amagiensis* SUGIMOTO

タツナミソウの白花品。長野県下でも採集
の記録がある。1992年7月4日。埴科郡戸倉町
冠着山頂(1252.2m)付近に生育していた。
（横内 文人）